



第 64 号

発行人
福 井 県 剣 道 連 盟
理事長 市 橋 和 廣

事務局
〒910-0015 福井市二の宮2-3-7
榊マルツ電波二の宮店 付属舎
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp

福井県知事杯第6回福井県剣道選手権大会

男子・新田六段
女子・伊藤参段

ともに初優勝!

六月二十八日(日)、大野市のエキサイト広場総合体育施設アリーナにおいて、県知事杯 第六回福井県剣道選手権大会が行われました。梅雨の最中で気温も高くなりましたが、各地区連盟などから参加した男子三十六名、女子二十七名の選手により、白熱した試合が展開されました。

男子の部は、全体的に実力が伯仲しており延長戦が多く行われていました。決勝では、新田雅和六段(福井県警察)が、2連覇を狙った竹内健五段を、延長の末、見事コテを決めて破り、初の栄冠を手に入れました。女子の部では、伊藤藍子参段(坂井地区・啓新高3年)が、史上初めて高校生での優勝という快挙を成し

遂げました。しかも、特筆すべきは、準優勝の堀端愛選手、三位の大柳奈美選手とあわせて三人の高校生がベスト4に勝ち残ったこと。若いパワーが大いに発揮された大会となりました。

優勝した選手のコメントです。
新田選手「今まで何度かチャンス



がありながら、なかなか手が届かなかつたので、今年こそはという意気込みで臨んだ。初

めて優勝できて本当にうれしい。全日本では、昨年、同僚の竹内選手が一回戦を突破しているの、それ以上の成績を目標にがんばりたい。」

伊藤選手「指導いただいた先生方、先輩たち、そして両親に感謝の気持ちでいっぱいです。全日本女子



では、福井の先生方に教えていただいた正統派の剣道を精一杯やりたい。」

新田選手は、十一月三日(祝)に日本武道館で開催される第五十七回全日本剣道選手権大会に、伊藤選手は、

九月二十七日(日)に静岡県武道館で開催される第四十八回全日本女子剣道選手権大会に出場します。本県の代表としての活躍を期待しています。



最後になりましたが、大会の開催にあたりましては、地元の大野市剣道連盟および勝山市剣道連盟の皆様、審判の先生方、スタッフの皆様にも多大なるご尽力をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

【成績】

▽男子の部

- 優勝 新田 雅和 (福井県警察)
- 二位 竹内 健 (福井県警察)
- 三位 鈴木 秀典 (福井県警察)
- 三位 中村 好伸 (福井地区)

▽女子の部

- 優勝 伊藤 藍子 (坂井地区)
- 二位 堀端 愛 (越前地区)
- 三位 大柳 奈未 (越前地区)
- 三位 佐々木 悠 (坂井地区)

EYE'S

大会権選手県トピックス

最年少選手たちが大活躍!

いやいや、ベテランも負けてません!



場で、会場を沸かせました。

本文でも触れましたが、

本大会は、若い選手が大活躍!。特に女子については、現役の高校生剣士が四人出場しました。啓新高校の伊藤選手(17)、堀端選手(17)、大柳選手(18)と武生高校の加藤理花選手(18)が、堂々とした試合運びと立派な成績で、会場を沸かせました。



男子の最年少選手は、高橋泰平選手(20・丹生地区)。こちらにも一回戦を見事突破しました。今後の活躍に期待したいところです。

一方、ベテラン勢も負けてはいません。天海祐希よろしくアラフォー世代の40代剣士3人衆(新井洋子選手、岡田恵子選手、道内由佳里選手)も存在感抜群。凛としたすばらしい剣道を見せてくれました。

観戦した筆者を含め、ほかの世代も負けずに精進したいものです。



二巡目福井国体を視野にジュニアの育成・強化!

去る三月二十二日(日)および五月二十四日(日)に、葬会館(福井市)において福井県剣道連盟の理事会・評議員会が開催され、平成二十一年度の基本方針や事業計画、収支予算ならびに平成二十年度収支決算の審議がなされました。

さらに、これらの議題に加えて、西川知事が年頭に平成三十年の二巡目福井国体の誘致を表明されたことを踏まえ、「今後の県内外の少年剣道競技大会および二巡目国体における優秀な成績を獲得すること」を目的に、「福井県ジュニア育成・強化に関する要綱」の策定について審議、了承されました。

昨年度から、少年剣道専門委員会が中心となって、ジュニア育成強化剣道大会で選考された小学一年生から六年生までの少年少女を対象に、毎月一回、強化練成を実施してきたところだ。

今回、強化選手の選考基準や強化方針を明確にした要綱が策定されたことで、ジュニアの育成・強化についての体制が整いました。少年剣道のレベルアップおよび選手層の拡充

を目指し、さらに努力してまいります。

平成二十一年度の基本方針および重点事業は次のとおりです。

平成二十一年度 基本方針

日本の伝統と文化に培われた剣道の普及・発展を図るとともに、心身の錬磨による人づくりと社会の健全な発展に貢献するため、「剣道の理念」に基づき、高い水準の剣道人を育成し、社会から高く評価される活力ある剣道界の実現を目指す。

平成二十一年度 重点事業

- 一 二巡目の福井国体の成功を期し、長期構想に基づき、福井県剣道連盟の活性化を図る。
- 二 第六十四回新潟国体への全種目出場と入賞ならびに各種の全国大会における入賞を目標に選手強化を図る。
- 三 中学校における武道の必修化に向けた万全な準備を行うとともに、少年剣道を軸とした剣道人口の拡大を図る。
- 四 傘下団体との連帯を強化することなどにより、より一層の剣道の普及・発展を図る。

平成二十一年度の事業計画の主なものとして、毎年九月に実施している「福井県剣道大会」を、「中高校生（九月十九日）」と「一般の部」（九月二十日）の二日間の開催とし、より多くのチームに参加していただけるようにします。

また、昨年、一昨年と開催し好評を博した世界一剣道教室について、講師や対象者を改めて検討し、二十一年度も実施する予定です。

本年度も当剣道連盟の事業推進にご理解、ご協力を賜りますとともに、各種事業活動に積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。

試合結果

第64回国民体育大会
「成年男子第1次選考会」

平成二十一年四月十九日(日)
於 福井県立武道館

平成二十一年四月十九日(日)に福井県立武道館多目的競技場で国体一次選考会が開催されました。トーナメント戦による試合の結果、次の選手が最終選考会に進出しました。
〈第1次予選通過者〉

先鋒の部

寺木 勇人 (坂井)、坪田 隆雄

(県警)、脇本洋誠(福井)、中村好伸(福井 シード)
次鋒の部
堀 哲也 (県警)、新田雅和 (県警)、西川航平 (南条)、竹内 健 (県警 シード)

中堅の部

堤腰一昭 (敦賀)、米納智弥 (坂井)、中村英紀 (敦賀)、道内弘道 (福井 シード)
副将の部
小辻省一 (福井)、堀江範雄 (県警 シード)

大将の部

西川 譲 (南条)、吉川忠良 (坂井)、豊福安治 (坂井)、田口五十二 (鯖江 シード)

〈試合結果〉 男子の部

(1) 先鋒の部

・ 1回戦
坪田(県警) メー 橋本(敦賀)
・ 2回戦
水上(南条) メー 前田(県警)
寺木(坂井) メー 西川真(南条)
脇本(福井) メー 相馬(福井)
坪田(県警) メー 関根(南条)

決定戦

寺木(坂井)メメー メ 水上(南条)
坪田(県警) メー 脇本(福井)

・ 敗者復活
脇本(福井) ドー 水上(南条)

(2) 次鋒の部

・ 1回戦
小林(福井) メー 堀内(県警)
・ 2回戦
堀 (県警)メドー 畑 (鯖江)
松井(県警) メー 鳥山(大野)
笹谷(敦賀) ー ド 森本(県警)

決定戦

鈴木(県警) 反ー 宮田(福井)
新田(県警) メー 和田(越前)
高間(鯖江) 不戦勝ち
石倉(大野) ーメド 西川航(南条)

2回戦

堀 (県警)メメー 松井(県警)
森本(県警) ーメ 鈴木(県警)
新田(県警)ドコー 高間(鯖江)
西川(南条)メメー 松ヶ平(県警)

決定戦

堀 (県警) メー 鈴木(県警)
新田(県警) メー 西川(南条)

3回戦

中村(敦賀) 不戦勝ち
堤腰(敦賀) コー 近藤(坂井)
森岡(越前) 不戦勝ち
米納(坂井) 不戦勝ち

決定戦

中村(敦賀) ー コ 堤腰(敦賀)
森岡(越前) ーメ 米納(坂井)

敗者復活

中村(敦賀) ー コ 堤腰(敦賀)
森岡(越前) ーメ 米納(坂井)

第64回国民体育大会
「成年女子最終選考会」

平成二十一年四月十九日(日)
於 福井県立武道館

平成二十一年四月十九日(日)に県立武道館多目的競技場において第六十四回国民体育大会「成年女子最終選考会」が開催されました。試合の結果、次の方々が代表選手候補となりました。

先鋒の部

細川 梨絵 (東京都 ふるさと選手)
中堅の部
高嶋 寿美 (福井 シード)
大将の部
道内由佳里 (福井)

〈試合結果〉

(1) 先鋒の部 (リーグ戦)
細川(ふるさと) コメー コ 野村(南条)

細川(ふるさと) コメー コ 野村(南条)
細川(ふるさと) コメー 西村(南条)

野村(南条) ー コメ 西村(南条)

中村(敦賀) メー 森岡(越前)
副将の部、大将の部については参加申込が四名以下のため、全員が第二次選考会に進出。

(2) 大将の部(リーグ戦)

- 遠山(三方) メー 道内(福井)
- 道内(福井) メー 新井(福井)
- 遠山(三方) ーメ 新井(福井)
- ・決定戦(リーグ戦)
- 遠山(三方) ーメ 道内(福井)
- 道内(福井) メー 新井(福井)

中堅の部については高嶋選手(福井 シード)一名のみが参加申込のため、高嶋選手に決定。

第57回全日本都道府県

対抗剣道優勝大会

平成二十一年四月二十九日(水) 於 大阪市舞洲アリーナ

平成二十一年四月二十九日に大阪市舞洲アリーナにおいて開催されました。本年度より男子のみの団体戦となる一方、先鋒に高校生、次鋒に大学生が出場することになるなど試合方式が変更されました。

本県選手団は、西川親子(父 譲 長男 航平、次男 真平)の三選手が出場し、全国的にもその戦い振りが注目されました。一回戦に岩手県と対戦した本県チームは、先鋒北村選手が立ち上がり惜しい返し面を放つも、その後小手と胴を打たれ、二本負けとなりました。次鋒西川真



平選手は、終始慎重に戦い引き分けで、五将の兄航平選手に撃きました。航平選手は六段の相手選手に終始攻め続けましたが、鏝競合いの反則をとられた後一瞬の隙を衝かれ、鏝競合いからの引き面を打たれ一本負けを喫しました。中堅相馬選手は、初出場の硬さがあったためか、良く攻めましたがいづつ切れるのある技がはずに引き分けとなりました。三将竹内選手は、昨年の全日本選手権でも一勝するなど好調を保持しており、自信溢れる試合運びで小手の一本勝ちで追撃の火花を上げました。副将堤腰選手は、立ち上がりに小手から面と渡り、体当たり後の引き面が一本ではと思われる場面もありましたが、落ち着いた試合運びの相手選手に二本負けとなってしまいました。大将の譲選手は、勝敗が決まったとはいえ八段の相手大将に堂々と勝負を挑み、面と返し胴の二本勝ちをしましたが、2対3という試合結果で、

目標のベスト8には全然及ばない一回戦敗退となってしまいました。

今大会での本県チームの反省事項は次の通りです。一つ目は、個々の選手が自分の試合の中で攻め方の工夫をすること。二つ目は、チームの全員がチームワークを発揮して、全員で試合の流れを掴み勝利を呼び込むことです。来年こそはベスト8以上の成績を残せるように、剣連の強化稽古に参加しましょう。

福井県インターハイ予選

六月五・六・七日 於 県立武道館

●男子団体ベスト8まで

女子個人決勝まで

六月五日 福井県立武道館

●女子団体ベスト8まで

男子個人決勝まで

六月六日 福井県立武道館

●男女団体決勝

六月七日 福井県立武道館

●参加校

男子団体二三校 個人一九五人

女子団体一五校 個人一〇五人

▽男子個人戦

優勝 出店 理成(高志高校三年)

二位 山崎 由樹(啓新高校二年)

三位 小松原 翔(敦賀気比高校三年)

四位 嶋田 貴之(啓新高校三年)



▽女子個人戦

優勝 伊藤 藍子(啓新高校三年)

二位 江南 梓(敦賀高校三年)

三位 大柳 奈未(啓新高校三年)

四位 廣部 紗香(丸岡高校三年)





▽男子団体準々決勝

○	△	△	△
美高	藤島	北陸	
2	1	0	0
1	2	5	2
気敦啓丸			
比賀新岡			
△	○	○	○

△	○	○	○	△	△
金美敦高				高若	
1	3	4	4	0	1
3	2	0	1	5	3
気三福敦啓藤					
比国商工新島					
○	△	△	△	○	○

(代表勝ち)

▽男子団体2回戦

○	○
丸北	陸
1	2
1	1
武羽	
生水	
△	△

△	△	△	○	△	○	△
福鯖福			敦科		藤生東	
1	0	0	1	2	1	
3	5	4	2	2	3	
金三敦			丹高			
津国賀			生専			
○	○	○	△	○	△	○

(本数勝ち)
(不戦勝)

▽男子団体1回戦

一位 啓新高校(七年度)
二位 丸岡高校
三位 敦賀高校
四位 美方高校



▽決勝リーグ

	丸岡	美方	敦賀	啓新	勝敗	勝率	順位
① 丸岡		2/2	3/2	0/0	1.5	5/4	2
② 美方	2/2		1/0	1/1	0.5	4/3	4
③ 敦賀	1/0	5/3		2/1	1	8/4	3
④ 啓新	3/2	4/3	4/2		3	11/7	1

▽決勝リーグ

	啓新	丸岡	福井	美方	勝敗	勝率	順位
① 啓新		4/3	2/2	3/2	2	9/7	2
② 丸岡	2/1		0/0	3/2	0	5/3	4
③ 福井	3/3	3/3		2/2	2.5	8/7	1
④ 美方	2/2	4/3	2/2		1.5	8/7	3

▽決勝リーグ

▽女子団体準々決勝

△	△	△	○
武生東	敦賀	若狭	啓新
0	1	0	2
2	2	4	1
丸福美北			
岡井方陸			
○	○	○	△

△	○	△	○	△	○	○
福武藤敦				武若北		
0	2	1	1	1	3	2
4	1	1	0	1	1	0
丸三				美科		
岡国				方技		
○	△	○	△	○	△	△

(代表勝ち)

▽女子団体1回戦



一位 福井工業大学附属福井高校
(三十八年度)
二位 啓新高校
三位 美方高校
四位 丸岡高校

第47回北信越
高等学校剣道大会

平成二十一年六月十九日(土)
二十一日(日)
於 長野市 ホワイティング

▽男子個人の部

- ・一回戦
 - 山本(敦賀気比)
 - ―ココ 笹井(富山第二)
 - 百田(美方)
 - ―メ 高野(金沢市工)
 - 高倉(啓新)
 - ―メ 井部(市立高志)
 - ・二回戦
 - 山崎(啓新)
 - ―コ 宮川(羽咋)
 - 前田(敦賀気比)
 - ―メ 黒部(富山)
 - 小松原(敦賀気比)
 - メ― 梅田(上田染谷丘)
 - 嶋田(啓新)
 - ―コ 竹越(金沢桜丘)
 - 出店(高志)
 - ―メコ 武田(星陵)
 - ・三回戦
 - 小松原(敦賀気比)
 - ―メ 土谷(金沢)

▽女子個人の部

- ・一回戦
 - 原田(美方)
 - ―コ 三澤(長野商業)
 - 米澤(啓新)
 - ド 澤田(星陵)
 - ・二回戦
 - 伊藤(啓新)
 - メ― 田村(呉羽)
 - 村上(美方)
 - ツコ― 福澤(富山北部)
 - 橋詰(美方)
 - メメ― 井波(高岡)
 - 廣部(丸岡)
 - ―メ 森岡(金沢桜丘)
 - 江南(敦賀)
 - ―メメ 田鶴(金沢桜丘)
 - 大柳(啓新)
 - メ― 清水(下伊那農業)
 - ・三回戦
 - 伊藤(啓新)
 - コメ― 笹崎(新潟商業)
 - 村上(美方)
 - メ― 布施(新潟商業)
 - 橋詰(美方)
 - ―メ 宮島(新潟商業)
 - 大柳(啓新)
 - ―メ 堀田(新潟中央)
 - ・四回戦
 - 伊藤(啓新)
 - コメ― 村上(美方)

▽男子団体予選リーグ

- 優秀選手
 - 男子 市野 耕大(美方)
 - 女子 伊藤 藍子(啓新)

結果

- 三位 伊藤 藍子(啓新)

- ・準決勝
 - 伊藤(啓新)
 - ―メコ 宮島(新潟商業)

※四校とも予選落ち

第1試合場

- 美 方 $\frac{6}{4}$ - $\frac{2}{1}$ 松本蟻ヶ崎 (長野)
- 美 方 $\frac{2}{1}$ - $\frac{5}{4}$ 市立高志 (新潟)
- 美 方 $\frac{2}{0}$ - $\frac{6}{4}$ 星 稜 (石川)
- 美 方 $\frac{9}{4}$ - $\frac{2}{1}$ 富山東 (富山)



第4試合場

- 啓 新 $\frac{10}{5}$ - $\frac{1}{0}$ 富山工業 (富山)
- 啓 新 $\frac{2}{1}$ - $\frac{8}{4}$ 松 代 (長野)
- 啓 新 $\frac{2}{1}$ - $\frac{5}{3}$ 金 沢 (石川)
- 啓 新 $\frac{2}{2}$ - $\frac{4}{3}$ 新潟商業 (新潟)

第3試合場

- 敦 賀 $\frac{6}{4}$ - $\frac{2}{1}$ 富 山 (富山)
- 敦 賀 $\frac{3}{1}$ - $\frac{3}{2}$ 佐久長聖 (長野)
- 敦 賀 $\frac{3}{1}$ - $\frac{3}{2}$ 新潟明訓 (新潟)
- 敦 賀 $\frac{1}{0}$ - $\frac{5}{3}$ 金沢市立工業 (石川)

第2試合場

- 丸 岡 $\frac{2}{0}$ - $\frac{3}{1}$ 新潟第一 (新潟)
- 丸 岡 $\frac{5}{3}$ - $\frac{1}{0}$ 上 田 (長野)
- 丸 岡 $\frac{0}{0}$ - $\frac{1}{1}$ 金沢桜丘 (石川)
- 丸 岡 $\frac{2}{2}$ - $\frac{1}{1}$ 龍谷富山 (富山)

第3試合場		第2試合場		第1試合場	
美 方 (福井) $\triangle \frac{1}{1}$	新潟中央 (新潟) $\circ \frac{3}{2}$	丸 岡 (福井) $\triangle \frac{0}{0}$	佐久長聖 (長野) $\circ \frac{4}{2}$	福井工大福井 (福井) $\triangle \frac{1}{1}$	羽 昨 (石川) $\circ \frac{3}{2}$
美 方 (福井) $\triangle \frac{3}{2}$	星 稜 (石川) $\circ \frac{5}{3}$	丸 岡 (福井) $\triangle \frac{2}{0}$	新潟商業 (新潟) $\circ \frac{7}{4}$	福井工大福井 (福井) $\triangle \frac{1}{0}$	屋 代 (長野) $\circ \frac{3}{2}$
美 方 (福井) $\triangle \frac{3}{2}$	松 代 (長野) $\circ \frac{4}{2}$	丸 岡 (福井) $\triangle \frac{1}{1}$	金沢桜丘 (石川) $\circ \frac{3}{2}$	福井工大福井 (福井) $\square \frac{1}{1}$	新潟明訓 (新潟) $\square \frac{1}{1}$
美 方 (福井) $\circ \frac{8}{4}$	高岡南 (富山) $\triangle \frac{2}{0}$	丸 岡 (福井) $\circ \frac{5}{3}$	富山中部 (富山) $\triangle \frac{1}{1}$	福井工大福井 (福井) $\triangle \frac{1}{1}$	富山北部 (富山) $\circ \frac{2}{2}$

▽女子団体予選リーグ



▽準々決勝

啓 新 (福井) $\circ \frac{5}{3}$	屋 代 (長野) $\triangle \frac{2}{1}$
------------------------------	----------------------------------

▽準決勝

啓 新 (福井) $\circ \frac{3}{3}$	星 稜 (石川) $\triangle \frac{3}{2}$
------------------------------	----------------------------------

▽決勝

啓 新 (福井) $\triangle \frac{3}{1}$	新潟商業 (新潟) $\circ \frac{6}{4}$
----------------------------------	-------------------------------

結果 2位

第4試合場

啓 新 (福井) $\circ \frac{3}{3}$	金 沢 (石川) $\triangle \frac{1}{1}$
------------------------------	----------------------------------

啓 新 (福井) $\circ \frac{7}{3}$	高岡工芸 (富山) $\triangle \frac{2}{1}$
------------------------------	-----------------------------------

啓 新 (福井) $\circ \frac{5}{2}$	長 岡 (新潟) $\triangle \frac{3}{0}$
------------------------------	----------------------------------

啓 新 (福井) $\circ \frac{4}{3}$	長野商業 (長野) $\triangle \frac{3}{2}$
------------------------------	-----------------------------------

※啓新高校が予選1位で通過

観 戦 記

福井県高体連剣道専門部
岩 谷 治 彦

高校生最大のイベント、春季高校総合体育大会剣道競技が六月五日から三日間、県立武道館で盛大に行われた。

個人戦は一日目に女子、二日目に男子が行われ男女個人戦ともベスト4が決勝リーグを行い、優勝をかけた熱戦が繰り広げられた。

男子個人戦でベスト4に進出したのは出店選手(高志)、山崎選手(啓新)、嶋田選手(啓新)、小松原選手(敦賀気比)となった。初戦、出店選手と小松原選手の激しい試合が最も印象に残った。その試合を制したのは小松原選手であったが、その後啓新高校の二人に破れ、結果は三位。白熱した試合が展開されたが、二勝一敗で出店選手、山崎選手が並び、優勝決定戦になったが、優勝を手にしたのは最後まで集中力を切らさず、戦い抜いた出店選手であった。

女子個人戦でベスト4に進出したのは伊藤選手(啓新)、大柳選手(啓新)、江南選手(敦賀)、廣部選手(丸岡)となった。結果は新人戦優勝の伊藤選手が安定した戦いぶりで3勝し優勝、持ち前の粘り強さで激戦を制した江南選手が二位となり、

インターハイへの切符を手にした。

三日目には男女団体トーナメントおよび決勝リーグ戦が行われた。男子団体戦は選抜出場の高志高校、有力候補の敦賀気比高校、北陸高校が決勝リーグを前にして姿を消す波乱が起きた。勝ち上がったのは丸岡、啓新、敦賀、美方であったが、最終的に優勝したのは啓新高校であった。三年生が一人という若いチームではあるが、勢いだけでなく、風格の漂う試合を展開し全勝でインターハイを決めた。女子団体戦は順当に啓新、美方、福井、丸岡が勝ち上がりの四校が決勝リーグに進んだ。選抜大会に出場し活躍した啓新高校が最有力候補であったが、最後までもつれる展開となった。啓新は丸岡に勝利した後、福井と対戦したが先鋒次鋒が落とし、苦しい試合を展開、個人優勝の伊藤選手を前にして啓新の勝利はなくなった。その試合で勢いづいた福井は粘る美方高校に引き分け、二勝一分けで二十七年ぶりのインターハイ出場を決めた。

本大会では一、二年生の活躍が多く見られたが、勢いだけでなく実力も兼ね備えた選手が多く、全国の舞台での活躍が非常に楽しみな結果となった。

その二週間後、長野県ホワイトリングで北信越大会が行われた。個人

戦では一回戦で多くの福井県選手が敗退する中、伊藤選手(啓新高校)と村上選手(美方高校)が素晴らしい試合を展開し、ベスト8まで勝ち上がった。残念なことに準決勝は福井県同士の対決となり、一本取つたら取り返すという白熱した試合が行われたが、伊藤選手が勝利を収め三位入賞を決めた。女子団体戦においても、個人三位入賞の伊藤選手を大将に要する啓新高校が粘り強い試合

指導者として毎年の研鑽を
二十一年度
剣道中央講習会
伝達講習会
五月十七日(日)
於 県立武道館

去る五月十七日、県内の剣道指導者を対象に「中央講習会伝達講習会」が開催されました。今年度の中央講習会に参加された、堀江範雄先生、山本英俊先生を講師に、正しい審判法や指導法などについて最新の理論や実践法を学んでいた。だこうと開催されました。今年も各地区連盟や団体から七十一名の参加を得て、熱心な講習会になりました。
最初は堀江先生より、「このよう

運びで決勝戦に駒を進め、惜しくもその試合では敗れたが、二位入賞と素晴らしい結果を残してくれた。
このように北信越大会では近年稀に見る好成績を残すことができた。
今後行われるインターハイや国民体育大会の全国の舞台においても、より一層剣道に磨きをかけ、素晴らしい成績を残してくれることを期待する。

自分の剣道を高める上でも、指導者としての資質を高めるためにも大切」というお話がありました。剣道形や審判法については新しい発見が必ずあるものだし、指導法についても先生によつては微妙にニュアンスが違うもの、そういったものをベースに、自分の剣道観を磨いていってほしいとのことでした。
続いての審判講習では、受講生よ



り高体連の鏝競り合いについて質問が多く出ました。高校の先生方の間ではある程度共通理解がはかられているものの、一般の方にはまだまだ馴染みも薄く、全国大会予選を間近に控えたこの時期、熱心な討議がなされていきました。

午後からは、木刀による剣道基本技稽古法の講習に入りました。近々昇級審査にも取り入れられる可能性があるとあつて、受講生の皆さんも真剣に取り組んでおられました。初めての方もたくさんおられるので、当初はかなり時間がかかると予想されていましたが、山本先生の的確で解りやすいご指導のおかげで、予定よりも短い時間で終了することがで

きました。

後半は、堀江先生に指導法の実技指導をしていただきました。一足一刀の間合いからの面打ち、小手打ちといった、基本中の基本を習いましたが、体勢を崩さず打ち切ることの難しさを感じ取ることができました。
全員での熱気あふれる稽古で締めくくられた今回の講習会では、基本の大切さを改めて認識するとともに、今後の指導に活きる幾つものヒントをいただくことができました。これからも、指導者として勉強を怠らず自らも稽古に励まなければと思う事ができた一日でした。お二人の先生方には心から感謝を申し上げます。
(広報委員 森岡)



「新潟国体」 成年男子最終選考会

平成二十一年六月十四日(日)
於 県立武道館

四月十九日の一次選考会で選出された選手によって、「新潟国体」成年男子最終選考会が実施されました。熱戦の結果、各年代の優勝者を代表選手として、選手強化・選考専門委員会において決定しました。

また、成年女子については、四月十九日の選考会で決定した二選手が、新潟国体出場を懸けて、八月二十三日に石川県で開催される北信越国体に出場します。

▽試合結果

成年男子

・先鋒(二十五歳未満)の部

- 一位 中村 好伸(福井地区)
- 二位 坪田 隆雄(坂井地区)
- 三位 脇本 洋誠(福井地区)
- 四位 寺木 勇人(坂井地区)

・次鋒(三十五歳未満)の部

- 一位 竹内 健(坂井地区)
- 二位 新田 雅和(坂井地区)
- 三位 西川 航平(南条地区)
- 四位 堀 哲也(福井地区)



成年男子代表

- 先鋒 中村 好伸(福井地区)

・中堅(四十五歳未満)の部

- 一位 堤腰 一昭(敦賀地区)
- 二位 中村 英紀(敦賀地区)
- 三位 米納 智弥(坂井地区)
- 四位 道内 博道(福井地区)

・副将(五十五歳未満)の部

- 一位 堀江 範雄(坂井地区)
- 二位 小辻 省一(福井地区)

・大将(五十五歳以上)の部

- 一位 西川 譲(南条地区)
- 二位 豊福 安治(坂井地区)
- 三位 吉川 忠良(坂井地区)
- 四位 田口 五十二(敦賀地区)

第一回全日本都道府県対抗 女子剣道優勝大会県予選会

平成二十一年六月十四日(日)
於 県立武道館

第一回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会の県予選会が県立武道館で開催されました。昨年まで全国家庭婦人剣道大会として開催されていた大会でしたが、名称変更し、高校生、大学生に出番を与え本格的大会に性格変更を行うことにより、女子剣道界がより活性化されることを期待するという趣旨での大会となりました。

先鋒の部については、先に行われた県高校春季総体の個人戦優勝者が出場することになっており、次鋒、中堅、副将、大将の部に分かれて試合が行われ、代表が決定しました。代表に決定した五人の選手は七月十

八日に東京都の日本武道館で開催される同大会に出場します。

▽試合結果

・先鋒の部(高校生)

- 優勝 伊藤 藍子
- 二位 江南 梓

・次鋒の部(大学生)

- 優勝 宮田 徳香
- 二位

・中堅の部

- 優勝 橋本 一美
- 二位 西江 智馨

・副将の部

- 優勝 高嶋 寿美
- 二位 松井 香里

・大将の部

- 優勝 遠山 証子
- 二位 小寺みゆき



みんなの広場

剣道部
クラブ紹介

大野地区剣道連盟

大野地区剣道連盟の発端は、戦前より大野町にあった大野振武会の剣道部である。

昭和二十八年に福井県剣道連盟に加盟し、(福井県剣道連盟 大野支部) 大野剣道会として独立した。

昭和二十八年十一月に第一回福井県剣道大会が藤島高校で開催され参加、大野選手団の活躍ぶりが語り草となっている。なお、発足当初の級審査の証は、

福井県剣道連盟初代会長の高波武右衛門のものであった。

その後、歴代の役員をはじめ会員の努力により、今日の大野地区剣道連盟がある。

平成三年六月に大野市エキサイト広場総合体育施設が完成。武道館剣道場の落成を記念して落成記念剣道大会を開催した。現在は、本道場を拠点に活動をしている。

平成十五年八月には大野地区剣道連盟発足五十周年を迎え、五十周年記



大野連盟落成記念

念と第三十六回おおの城まつり剣道大会を同時に開催した。

◎ 主な年間行事

- ・ 寒稽古(昭和二十九年一月の第一回から毎年)
- ・ 級審査(年二回 実施)
- ・ 大野B&G杯 少年剣道大会(毎年三月)
- ・ 福井県少年剣道練成大会(毎年七月)
- ・ 県民スポーツ祭(毎年八月)
- ・ 奥越剣道大会(おおの城まつり毎年八月)
- ・ 少年剣道武生大会(毎年八月)
- ・ 福井県剣道大会(毎年九月)

量思非

大野市剣道連盟

吉	平	野	福	会
信	正	山	帰	長
澄	清	川	古	副
夫	三	森	金	副
之	喜	田	福	事
	浩			務
				局



大野盆地の大野市は水のおいしい静かな城下町です。毎年大野の寒稽古は、雪の降るなか、寒さに負けないぞ「ヤー」「メー」「ドー」元気あふれる掛け声と

◎稽古

- ・大野市民剣道大会(毎年十一月)
- ・大野市エキサイト広場 剣道場で 毎週火・金曜日の午後七時より
- ・合同稽古会 大野市エキサイト広場 剣道場で 毎月第四日曜日の午前九時より
- ・事務局所在地

大野市中保二一八一
福田 浩之
〒〇七七九一六五一六九一三
少年剣道
大野市陽明町二一〇二〇
金森三喜夫
〒〇七七九一六五一三一五九

ともに始まります。「心とともに身体を鍛える」大人になってでもスポーツを生活に生かされるよう、会員一同、子ども達とともに稽古に励んでいます。

東レ・ダウコーニング(株)剣道部

東レ・ダウコーニング剣道部は、現在男性二名、女性二名で活動しています。稽古は、金津B&G体育館で毎週水・金曜日の午後七時〜九時、丸岡武道館で毎週火・金曜日の午後八時〜九時半で行っており、どちらか参加出来る方で稽古をしています。部員も少なく四名が揃って稽古をすると言う事はあまりないので、四名とも剣道大好きで頑張っています。

年間行事として、東レグループ剣道大会、福井県実業団大会、全日本女子実業団大会等に参加しています。我が剣道部は、ほとんど女性が活動しており今年初めて東レグループ女子剣道部員との合宿をしました。全日本女子実業団大会に参加するメンバー(私たち二名と、東レ滋賀の女性二名、東レ石川の女性一名)で一月に福井で行い、寒い中二日間稽古しました。合宿は、高校以来で新鮮な気持ちで望むことができました。いつもお世話になっている先生



方も参加して頂き感謝しています。その甲斐あってか、今年三月に行われた同大会ではベスト16という成績で終えることができました。この大会は、平均年齢が若くて二十代の人が多く私たちメンバーはかなり苦戦してきました。しかし、合宿の稽古や日々の稽古を思い出しどうにか頑張り抜いてきました。また、来年も大会に参加し今年よりも上にいけるように稽古をしています。これからも、女性だけでなく剣道部員四人が頑張って稽古していきたいと思います。

(安原 真紀 記)



金津剣道教室

金津剣道教室は、昭和四十七年に吉川忠良先生が旧金津町の子ども達を対象に勤労青少年者ホームの体育館を借りて始められ、その後、金津町からの依頼で剣道スポーツ少年団としての活動も行うようになり、現在は金津B&Gの体育館で水曜・金曜の夜に練習をしています。

現在、生徒は十七名ですが、吉川先生はじめ、たくさん先生の指導のもと教室OBの中学生や高校生も参加してくれ、基本稽古を中心に練習に汗を流しており、最後に「三誓



願・勉強します。剣道します。お父さんお母さんを大切にします」を全員で唱和して練習を終えます。

県内の大会や、スポーツ少年団の活動に参加して目立った結果はありませんが、元氣一杯の試合が出来るよう、日頃より注意して頑張っています。

父母の会「剣親会」により、鏡開き・バーベキュー会・合宿・クリスマス会・六年生を送る会など、たくさん年間行事を行って、団体の中での楽しい事や、小さい子の面倒を見る事、我慢する事、責任を持つ事など人間形成に役立つように活動をしているほか、父母と指導者との懇親の場としても活用しており、剣道を通じて親子の対話が出来よう、子ども達の世界が広がるよう末長く活動を継続していきたいと思えます。

(池端 和恵 記)

五 常 館

えちぜん鉄道の福井口駅北側、京福観光バスの車庫に隣接して道場があります。昔は農協の倉庫として使われていたようですが、昭和五十六年に元高校教諭の故渡辺作三先生が剣道場として改修されたもので、個人の町道場としては福井県では最初のものであります。



「剣道の技術を習得するよりも、立派な人間に育ってほしい」との願いを込めて五常(仁義礼智信)を道場訓としたことから五常館と命名しました。

現在は九つの小学校から十七名が集まり、火・木・土の週三回の練習に励んでいます。

土曜日の小学生の後、中学・高校生の練習を一時間ほど実施しています。こちらには、滝口先生や、藤島高校卒業生の小林和洋君、三井清喜君、西江智誉さん達が指導に来てくれます。

今年の夏休み、広島遠征の計画を立てました。練習に頑張っている子

ども達の楽しい思い出作りになればと思っております。

全国的にも私立の町道場が減少している中、五常館も厳しい状況にあります。今を精一杯、家内と共に指導していきたいと思っております。

(岡田 盛 記)

泰 成 館

稽古場所 片上小学校(月曜日)
中央中学校(金曜日)
練習時間 午後七時〜九時



鯖江泰成館道場は、平成七年に設立されました。まだまだ歴史は浅い

道場ではありませんが、ようやく道場を築立った子ども達が社会人となりはじめました。子ども達が成長し、今後社会で活躍する様を期待しております。

我が鯖江泰成館道場は、「勝前不負」の精神の下、「勝つ前にまず負けない事から始める」を重んじ、日々修練しています。しかしながら「剣道が全てではない」という考え方をし、まず礼儀であったり、感謝する心であったり、反省できる心などを大切にしています。剣道を通じて学び、精神を通じて剣道を学び、その結果、本人にとって剣道が大切なものになってくれる事を期待し、指導者達は精一杯指導しています。何事も当たり前ではないのです。親が竹刀を買ってくれる事、送り迎えをしてくれる事、先生が剣道を教えてくれる事、全てが当たり前ではないのです。当たり前ではない事を感じればこそ感謝し、反省し、努力する事に通じると思っています。

今は子ども達も非常に少なく試合にも出られないような道場ですが、子ども達が少ないからこそすぐ元気に頑張り、自分の為、仲間の為に大きな声を出して、支え合っています。人の為に何が出来るかを考え仲間のために大きな声で頑張っています。父兄、指導者、子ども達が皆で準備

体操、素振りと一緒に声を出し合い将来を夢見ています。

これからも父兄、指導者が子ども達を見守りながら、いつか試合に出られる道場になって子ども達にまた違う経験をさせてあげたいと日々願っております。子ども達と厳しく、楽しく、稽古に励んでいきたいと思いません。

神山剣道スポーツ少年団

神山剣道スポーツ少年団は昭和五十四年に発足いたしました。

「明るく、楽しく、神山らしく」をモットーに、毎週月曜日と金曜日、十九時〜二十時三十分まで神山小学校体育館で稽古に励んでいます。現在団員は二十七名です。

【明るく】

毎年夏休みには合宿（暑中稽古）を行っていただきます。中には稽古より夜の肝だめしが怖いと泣く団員もいます。

年に数回は試合にも参加します。きちんと礼をすること。大きく元気な声を出すこと。正々堂々と真剣に試合をすること。の三つを心がけています。勝敗にはあまりこだわりません。

【楽しく】

指導者として登録している人は六

名です。但し、超多忙な人ばかりで、稽古が始まる時間に揃うことは出来ません。指導者以外でも剣道に携わっている人や保護者の皆さんにも手伝わってもらっています。

指導者同士が連絡を密に取り合っており、稽古に来られる時間帯を繋いでいます。時には保護者の皆さんが見よう見真似で指導者の代わりに素振りを仕切ってくれる光景もあります。

まるで昨年の北京オリンピック陸上男子四〇〇mリレー決勝での日本チームのようなチームワークです。

【神山らしく】

数年前に、「一生懸命をモジッテ」「一生懸命」の四文字の団旗を作り



剣道具 修理・販売専門の店・スポーツ用品全般

福井県剣道連盟 推薦の店
越前市剣道連盟 } 指定店
丹生郡剣道連盟 }

武生スポーツ

〒915-0803 福井県越前市平出 2 丁目 3 - 9
TEL. 0778 (22) 1829 FAX. (22) 1826

営業品目

記念品・贈答用品・カップ・トロフィー
バッジ・ワッペン・ネームプレート(名札etc)
旗類一式・ディスプレイ製品
各種プリント加工

有限会社 なんぶ

〒918-8239 福井市成和 1 丁目1501 TEL (0776) 26-0376 FAX (0776) 24-1173

お客様のイメージをビジュアルに表現する エキスパートです。

グラフィックデザインから出版まで
トータルにサポート



TOTAL PROJECTOR OF PRINTING 児玉印刷株式会社

〒910-0061 福井県福井市舟橋新町7-119
TEL.0776-21-1027(代) FAX.0776-21-2839
E-mail kodama-p@mx1.fctv.ne.jp

ました。四人の指導者でそれぞれ一文字ずつ受け持って、各自が習字の稽古をして、清書した字を並べました。

誰か中心となる指導者が責任を持って団を仕切る、本来(他の多く)の形とは違い、色々問題もあります。

しかし神山スタイルも、見えない糸を強固にし、これからの時代に則った新しいスポーツ少年団のスタイルに進化できるかも知れないと淡い期待を抱いています。

これからも子どもと保護者と指導者が「信頼」というバトンを繋いで走ります。

(楠 宏彰 記)

金津中学校剣道部

金津中学校剣道部は、男子九名、女子一名、計十名で活動しています。金津中学校には武道館がなく、学校の近くにあるB&G体育館で活動しています。

金津中学校剣道部の目標は県大会出場ですが、それよりも、もっと力を入れて取り組んでいる目標があります。それは、剣道を通して、自身を今以上に強く鍛え上げようという目標です。試合に勝つことはとても大切なことですが、試合に勝つことばかりに気を取られてしまつて



は正しい剣道ができません。しっかりと稽古を積み重ね、その稽古の成果を試合で試し、試合に負ければ反省し、また修行をやり直す。これを日々繰り返しています。また、剣道で培ったことを普段の生活の中でも実践できるように努力しています。

金津中学校を卒業された先輩方はとても優秀な成績を収められています。また成人になられても、剣道の成績はもちろん、様々な職場で活躍されています。先輩方に少しでも追いつけられるように、これからも日々稽古に励み、頑張っていけるようにしたいと思います。

森田中学校剣道部

福井市の北端、九頭竜川沿いに位置する森田地区。北国街道の要所として栄えてきた町です。故・桑原瑞尚先生創設「九頭竜武徳館」に端を発し、一九六八年の福井国体では森田小学校が剣道会場になるなど、県内有数の剣道の盛んな地域です。その森田地区に在する森田中学校では、男女問わず全校生徒が剣道を履修しており、学校行事として実施している「剣道祭」は今年で第二十回を数えます。

森田中学校剣道部は男女ともに創部昭和三十六年、剣道界で活躍される諸先輩方を排出し、現在も森田地区に六段以上の先生が九人もいらつしゃいます。現在部員数は男子二十六名、女子十三名、計三十九名になります。部員数減少が心配される昨今にあつて、部員が充実していることは本当に喜ばしいことだと思えます。小さな体育館の半分を「道場」と呼んで使っていますが、この「道場」も他部活との競合で多くて週四日しか使えません。四十人近くが一斉に稽古を始めると、芋の子を洗う状態になり、肩や背中との接触が絶えません。しかし利点もあり、小さく天井も低い道場は発声がよく響くので、一斉に気合いを入れると、とて

も盛り上がった良い稽古に思えます。

道場訓は「思無邪(しむや)……思い邪(よこしま)無し 邪心が無く純粋な気持ちという意味です。剣道修行の根幹に迫るその教えは、部員にも監督にも難しいので「ただひたすら一生懸命に剣道する」と分かりやすく解釈しています。応援部旗はもちろん、防寒着や竹刀袋に掲げており、県内のみならず県外に遠征に出ても珍しく、我が部の誇りです。

これからも地域のご支援をいただき、道場訓に負けぬ立派な剣道を目指します。



敦賀気比高校



敦賀気比高校は現在、文武両道を柱に、二十名（男子十一名、女子八名）うち中学生一名で活動しています。特徴のひとつは、一人ひとりの個性を大事にした練習における自主性です。決められた練習メニューに加えて各自様々な工夫をこらしています。また、先輩・後輩の絆をこえた切磋琢磨の練習に、自主性と強制のバランスのとれた稽古の積み重ねを日々行っています。

モットーは「笑顔」そして、「準備しているところに幸運の女神はいる」です。この言葉を信じて、試合直前まで緻密に練習を重ね、試合で

は豪快な試合を目指しています。生徒・顧問・保護者が一体となって活動しています。これからも、お世話になっている多くの方々感謝しながら精進していきたいと思っております。今後とも宜しく願います。

丸岡高等学校剣道部

丸岡高等学校剣道部は、公立高校ながら平成元年頃より全国大会に何度も出場し、平成九年度には全国選抜大会で福井県初のベスト8に入賞するなど、全国大会で活躍してきた実績を持つ剣道部であります。そして、大学・一般となつてからも多くの先輩方が選手・指導者として福井県の剣道界を牽引するような活躍をしています。また、本校は教育目標として「文武両道」を掲げています。剣道部においても学業と部活動の両立を実現するため、日々勉強と稽古の両方に励んでおります。

現在、部員は男子十名、女子五名の計十五名です。少子化傾向のためか、男子も少人数ですが、特に女子については何とか一チームつくれるという厳しい状況になってしまいました。しかし、その分チームワークを高めるように意識して熱心に稽古を積み重ねてきました。その結果、

これまで男子は県高校総体二位、女子は春季選手権二位、県高校総体四位という成績を収めてきました。

平日は七時限まで授業があることと、丸岡地区以外から通学している生徒が電車を利用していることから、午後五時〜七時までの二時間の練習を行っております。時期によって内容は変わりますが、足捌きや打ち込みを中心とした練習を行っています。土日は基本的に午前九時〜十二時までの三時間の練習を行い、地稽古や技の練習といった内容を含めて行っています。とくに長期休業中や試合のシーズン前の土日は県外遠征を行います。これまで関東〜九州まで全国大会で活躍する強豪の学校と剣を



交え、技だけでなく、全国で活躍するチームの雰囲気や態度、剣道に対する姿勢を学ばせてもらっています。同じ高校生として自分たちとの違いが気持ちであることを分かってもらいたいと思っております。

最後に、正しく強い剣道を目指して全国大会で活躍できるように日々の稽古を一步一步着実に積み重ねていきたいと思えます。そして、剣道を通して正しい人間形成を行ってきたいと思えます。

大野高等学校剣道部

本校の剣道部員は、全員が高校入学後に剣道を始めた初心者ばかりです。二年生一名、一年生五名、計六名と少ないですが、毎日精一杯稽古に励んでいます。経験も浅く、技の完成度は高くありませんが、声をはつきりと出す、礼儀正しい行動を取るなど、技術がなくてもできる精神面については、気を配っています。練習は、二〜三時間かけて、体操・素振り・竹刀への打ち込み・面をつけての基礎的な技の稽古を行っています。

また、月に一度の大野市剣道連盟主催の合同稽古会に参加させていただき、技術力・精神力の向上に努めています。さらに、時々指導に来て

剣道称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十一年五月十日

福井県立武道館

「初段」一〇六名

- 塚本湧正(中央中)
- 坂井健人(丸岡中)
- 栃川晋太郎(松岡中)



くださる本校OBの石倉先生などのお世話にもなり感謝いたします。これからも、支援してください。皆さんの期待に応えられるよう、頑張つて精進していききたいと思ひます。

- 堀端 翔(武生第一中)
- 加藤 也(中央中)
- 毛利 祐(足羽第一中)
- 三谷 己(中央中)
- 安藤 良(三方中)
- 西森 英(武生第一中)
- 乘京 祐(丸岡中)
- 堀江 尚(春江中)
- 青竹 史(春江中)
- 西村 英(三方中)
- 長谷川 輝(春江中)
- 後藤 秀(明倫中)
- 辻藤 蓉(足羽第一中)
- 坂下 雅(藤島中)
- 中條 貴志(明道中)
- 祐安 智基(森田中)
- 坂口 将大(足羽第一中)
- 田中 大志(鯖江中)
- 高野 航一(東陽中)
- 細田 翔太郎(明倫中)
- 笹木 啓運(三国中)
- 市村 直己(芦原中)
- 長家 優也(中央中)
- 齊藤 潔晃(三国中)
- 富田 建(三国中)
- 井上 暁陽(森田中)
- 仲井 晴希(池田中)
- 堀江 欣司(芦原中)
- 大橋 和馬(明道中)
- 宮澤 拓也(明道中)
- 竹内 友哉(鯖江中)
- 坪川 翔(武生第二中)

- 喜多村 隆志(明倫中)
- 木村 嘉希(鯖江中)
- 小玉 歩(至民中)
- 北川 健太(明倫中)
- 百田 貴哉(三方中)
- 齋藤 敬悟(金津中)
- 桐生 竜柳(三国中)
- 小竹 史晃(明倫中)
- 吉村 祐紀(三方中)
- 竹田 涼(松陵中)
- 山田 玲央(三国中)
- 山上 雅統(金津中)
- 上出 雅(明倫中)
- 西川 祥平(明倫中)
- 北川 雅貴(明道中)
- 梅田 圭仁(藤島中)
- 二本松 大夢(三方中)
- 掃部 司(鯖江中)
- 永原 卓弥(池田中)
- 京藤 啓佑(武生第一中)
- 庭本 大輔(武生第二中)
- 佐々木 尚紀(鯖江中)
- 小寺 優輝(森田中)
- 竹澤 星斗(松岡中)
- 戸嶋 力斗(中央中)
- 東川 寛悟(大東中)
- 黒川 真史(明道中)
- 上田 浩嘉(松岡中)
- 仲保 富由輝(中央中)
- 佐藤 愛人(明道中)
- 横川 喜之(森田中)
- 橋本 聖也(清岡中)
- 田島 祐貴(清水中)

- 吉田 宗正(武生第二中)
- 梶川 翔太郎(芦原中)
- 大戸 崇司(大東中)
- 福澤 佑太(松岡中)
- 坂下 凌介(永平寺中)
- 桑原 龍一朗(鯖江中)
- 島川 涼平(啓新高中)
- 山口 佑介(高志高中)
- 児堂 友哉(福井高中)
- 片岡 慎之介(啓新高中)
- 山本 大地(福井高中)
- 墨崎 裕幸(鯖江地区)
- 吉川 繁(丹生地区)
- 岩崎 善和(南条地区)
- 吉長 綾香(鯖江中)
- 杉本 綾愛(明倫中)
- 笠原 綾子(明道中)
- 加藤 有紀(中央中)
- 小堀 理絵(三方中)
- 高柴 摩矢子(明道中)
- 川猿 海鈴(三国中)
- 竹内 七海(森田中)
- 百田 光里(三方中)
- 矢部 美貴(三国中)
- 遠藤 美佳(明倫中)
- 藤本 実優(三方中)
- 久世 奈津美(成和中)
- 瀧波 奈々(大東中)
- 中西 香織(三方中)
- 渡邊 翔子(明道中)
- 吉本 あすか(中央中)
- 大久保 有希(清水中)

〔二段〕 三十六名

滝川直樹	舟田悠己	齋藤展人	若松大祐	上出彰馬	山埜航明	宮浦秀貴	大越智大	谷口貴祐	早瀬佳二	川谷康二	坂井貴之	宮崎大芽	小林俊太	金本光平	古市慎也	小笠原亨	林篤紀	元矢隼人	堀田拓哉	戸島拓哉	城野優生	楠田和未	篠原綾美	今井彩乃	大森千嘉	堀田実希	安川恵理奈	橋川理沙	林詰理菜	
(勝山高)	(足羽高)	(中道中)	(明道中)	(成和三中)	(三國第一中)	(中央第一中)	(丸岡中)	(丸岡中)	(足羽第一中)	(附属中)	(丸岡中)	(三國中)	(坂井中)	(丸岡中)	(坂井中)	(松陵中)	(中央中)	(丸岡中)	(明道中)	(中央中)	(武生第二中)	(藤島中)	(坂井地区)	(金津高)	(三國中)	(春江中)	(明倫中)	(中央中)	(中央中)	(成和中)

〔参段〕 四名

山崎垂梨紗	林萌美	島田里好	高柴安里	川合菜月	柳原有花	竹下達哉	北村透丸	岩佐亮太	佐藤俊也	小西涼太	卷田弘樹	村田一晟	山下龍也	小西真弘
(三國高)	(三國高)	(福井商高)	(明道中)	(三國中)	(森田中)	(丸岡高)	(丸岡高)	(科岡高)	(丸岡高)	(春工高)	(春工高)	(武生東高)	(科技高)	(武生東高)

〔四段〕 二名

小玉完嗣	八幡喜己	橋詰由希	前川誠	村上学	村人数人
(福井地区)	(福井地区)	(美方高)	(勝山地区)	(坂井地区)	(福井地区)

〔五段〕 一名

加藤昌広
(鯖江地区)



女性剣士の部屋

ペンリレー

鯖江市剣道連盟 古河 公代

私と剣道との出会いは、兄の影響が大でした。小さい頃から剣道に励んでいる兄を横目に遊びまわっていた私は、中学入学と同時に、剣道部に入らなきゃと、何のためらいもなく入部していました。中学、高校と剣道に明け暮れる毎日でも、すばらしい先生、先輩、仲間達のお陰で辞めたいと思っただけではありませんでした。剣道が好きだったんでしょね。

高校卒業後、剣道から遠ざかって十七年目の春、出会ってしまったのです。悪友に。その出会いがキッカケで、子どもをスポーツ少年団に入れ、私も指導者として剣道に復活する事が出来ました。いざ始めると、仕事、子育て、家事、剣道と、目が回るほど忙しい毎日が続きました。でも、高校時代のOBの方々(昔は怖かったです)や、ずーっと年下のかわいい後輩達と出会い、今では先輩が指導しているスポーツ少年団と週一回合同練習をさせてもらい、熱い思いを語り合いながら刺激をもらっています。

子ども達といえ、高三の長女はインターハイ予選も終わり、剣道が続けていたことに満足し、中一の次女は、学校には剣道をしに行ってる、と剣道バカっぷりを発揮し、小一の長男は汗だくになって素振り、すり足に励んでいます。ダンナ様は私たちを温かく、時には呆れ顔で見守り、仕事で疲れている時でも色々協力してくれて、とても感謝しています。

私は平成十七年に家庭婦人大会で日本武道館に行かせてもらったのがとても嬉しくて、何の活躍も出来なかったのですが、大切な思い出になっています。その家庭婦人大会もなくなって、今年から都道府県大会になりました。"剣道を楽しみたい"と思っっている私のような一般人にとっては出れる試合が減り、とても寂しく思います。ですが、剣道を楽しんでいる母の姿を子ども達が見てくれることで、"自分も頑張ろう"と思ってくれるとありがたいです。一生懸命剣道をしている子ども達の素敵な顔をずーっと見ていたいし、一番の応援団長で居続けたいと思っています。

女性の皆さん、剣道を楽しみましょう。そして出会いを大切にしましょう。それではお元気で！

P.S. 福井高校女子剣道部 インターハイ出場おめでとう！
頑張れ!!

8～10月事業計画

期 日	曜日	事 業 名	場 所	開 催 者	備 考	
8/8～9	土～日	県民スポーツ祭(土・高校)(日・一般)	県武道館	県剣連共催	午前 8:00から	
10	月	第51回全国教職員剣道大会	滋賀県	全学剣連		
11～12	火～水	地域社会武道指導者研修会	県武道館	日本武道館		
15	土	第42回奥越剣道大会	大野市			
20～22	木～土	第39回全国中学剣道大会	熊本県	全国中体連		
22	土	剣道 七段審査会	福岡市	全剣連		
22	土	県教職員剣道大会	福井市	福井県		
23	日	第30回北信越国民体育大会	石川県	北信越国体事務局		
23	日	剣道 六段審査会	福岡市	全剣連		
23	日	第38回福井県少年少女剣道錬成武生大会	越前市	県剣連共催		
30	日	剣道段位審査会	敦賀市	県剣連		
30	日	剣道 六段審査会	秋田市	全剣連		
9/6	日	北信越学生剣道大会	県武道館	北信越学生剣道連盟	多曜日 午前9:00から	
6	日	第22回福井県居合道大会	県武道館	県剣連		
6	日	第22回健康福祉祭剣道交流大会	札幌市			
12～13	土～日	第36回居合道中央講習会	京都市	全剣連		
13	日	第55回全日本東西対抗剣道大会	埼玉県	全剣連		
13	日	第4回全日本都道府県対抗少年優勝大会	大阪市	大阪府剣連		
13	日	資質向上研修会	県武道館	県剣連共催		
19	土	第57回福井県剣道大会(中高生)	県武道館	県剣連		
20	日	第57回福井県剣道大会(一般)	県武道館	県剣連		
20	日	第48回全日本女子剣道選手権大会	藤枝市	全剣連		
27	日	居合道伝達講習会	県武道館	県剣連		
27	日	剣道指導者講習会・合同稽古会	敦賀市	県剣連		
10/3～5	土～月	国民体育大会	新潟県	日体協	柔道大道場 午前 9:00から 午後10:00から	
4	日	剣道形講習会	県武道館	県剣連		
10	土	常任理事会	県武道館	県剣連		
11～12	日～月	中体連近県練成会	県武道館	県中体連		
18	日	第6回坂井地区剣道大会	三国町			
24	土	第44回全日本居合道大会	島原市	全剣連		
25	日	世界一剣道教室	県武道館	県剣連		
31	土	中体連県新人大会	敦賀市	県中体連		
						午前 9:00から
						中郷体育館

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL (0776)28-6616